

え エコで行こ!! やすぎ 第24号



発行：安来市市民生活部環境政策課 TEL23-3102

ごみ減量・分別特集

- 分別によるごみ処理量について
- リサイクルステーションの使い方
- リユース食器でごみ減量
- 小学校環境活動補助金



日頃より、ごみの分別及びごみ減量化に協力していただき、ありがとうございます。
今回はごみ減量・分別特集と題し、4つの項目を紹介します。

1

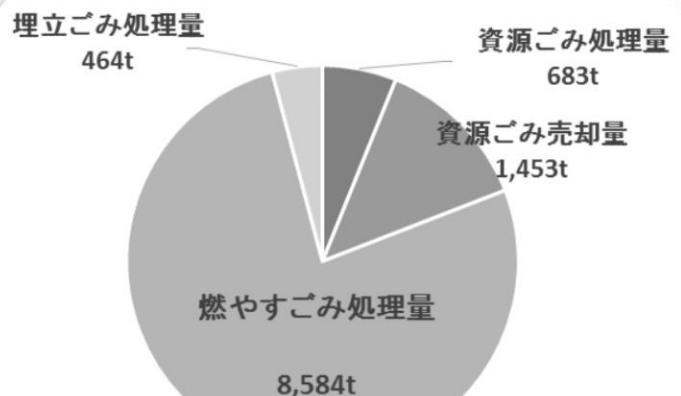
分別して出したごみ処理量



右のグラフは平成26年度のごみの処理量の内訳を表しています。ごみの分別に協力してもらっていますが、燃やすごみの量が最も多いことが一目でわかります。

また、資源ごみは処理費を払ってリサイクルするものと、売却してリサイクルするものの2種類あります。

皆さんにごみの分別にご協力いただいた結果、昨年度は約1,500万円の資源ごみの売却収入がありました。



平成26年度	
燃やすごみ処理費	248,446,318円
1人あたり	6,115円
資源ごみ処理費	10,148,060円
1人あたり	249円
資源ごみ売却費	15,725,527円
1人あたり	387円

左の表は平成26年度の1年間の処理費と売却費、また1人あたりに換算した金額を表したものです。

安来市の人口を40,632人(H27.3月末)とすると、燃やすごみを処理するのに1人約6000円掛かっていることが分かります。

燃やすごみは重さに応じて処理費を支払うので、生ごみはよく水切りをして出すなど重さを減らす工夫や、トレイなどの食品容器は水洗いしてプラスチック類に出すなど、燃やすごみをなるべく減らし、資源ごみに分別して出す工夫を、みんなで意識して実践していきましょう。



2

リサイクルステーションへの出し方

リサイクルステーションは、市内25箇所に設置しており、下記の資源ごみを回収しています。（ただし、事業所のごみは出せません。）それぞれ出し方が決まっているので、ルールを守ってリサイクルステーションを使いましょう。

衣類

・・・シャツ、ズボン、スーツ、スカート、セーター、着物 など
きれいでリサイクルできるもの（作業着や制服など名前つきもOK）

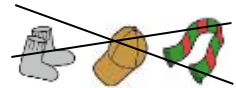
●出し方 中の見える袋に入れて出す（袋の大きさは指定袋(大)までの大きさ）

●出せないもの 下着、靴下、マフラー、スカーフ、ネクタイ、帽子や汚れた衣類など



燃やすごみ

（マフラーなど長いものは30cm程度に切る）



蛍光灯・温度計

・・・直管型・丸型の蛍光灯、直径3cm以上の電球
水銀を使用している体温計、温度計、湿度計、血圧計

●出し方 保護紙ははずしてステーション内に設置されたコンテナに出す
割れた物は中の見える袋に入れる

●出せないもの 直径3cm未滿またはLEDタイプの電球 → **埋立ごみ**

電子温度計、電子体温計 → **金属類**

温度表示部分が赤いアルコール式の温度計 → **埋立ごみ**



板ガラス

・・・枠の付いていない板状のガラス
縦横 50cm 以内のもの
模様付きや透明でなくてもよい



●出し方 適度な箱に入れひもで結んで出す

●出せないもの 網ガラスやアルミなどの枠付き } **市の処理施設へ搬入**

縦横 50cm 以上のもの

粉々になったガラス

→ **埋立ごみ**（箱に入れて、指定袋に「割れガラスあり」と記入する）

リサイクルステーションの使用状況



リサイクルステーションは、みんなが使う施設です。きれいに利用していただいている施設もありますが、中には回収できないものを持ち込まれる場合があります。リサイクルステーションは置いておけば回収してくれる所ではありません。ほかの方の迷惑になるような行為はやめ、誰もが気持ちよく使えるよう一人ひとりがルールを守り、きれいに使ってください。

きれいに使ってもらっているステーション



回収できないもの

粉々になったガラス → **埋立ごみ**

乾電池 → **金属類**

50cm 以上の板ガラス → **市の処理施設へ搬入**



高尾クリーンセンター
広瀬一般廃棄物最終処分場
伯太一般廃棄物最終処分場



袋に入れられてない衣類
中身が見えない黒い袋

衣類は中の見える袋に入れて出す



布団・毛布類

↓
粗大ごみ

一升瓶 → **販売店回収**に出す

又は**ビン類**

バッグ → **燃やすごみ**



3

リユース食器を使ってイベントを楽しくエコに！

地域のお祭りや飲食を伴う会議などで、使い捨て容器（紙コップ、紙皿など）の代わりにリユース食器を使うことで、楽しみながらゴミの減量化、そして地球温暖化防止に貢献することができます。

リユース食器とは

リユース食器は、1回使うだけでゴミになる使い捨て容器の代わりに使用する、繰り返し洗って再使用（リユース）する食器やカップ、箸などの総称です。「使い捨てのライフスタイルを見直し、ものを大切に使う心を伝える」リユースの取り組みの一つです。



リユース食器使用の流れ

※使用数が多くレンタルが必要なイベントの場合



やすぎ環境フェアで体験

日時 9月13日（日）10時から15時
会場 和鋼博物館（安来町1058番地）

「やすぎ環境フェア」では、出店で販売される飲食物にリユース食器を使用します。昨年は、約3,500点のリユース食器を使用することで、約27kgのゴミの削減につながり、CO₂削減量は約136kgにも及びました。これは、10本の杉の木が1年間に吸収する二酸化炭素の量に匹敵するほどです。

是非、会場にお越しいただき、実際にリユース食器を手にとって、体験してみませんか。



使う eco 返す
**あなたが使うその食器
リユース食器です。**
安来市

4

レジ袋削減基金による小学校環境活動補助金

平成26年度分のレジ袋販売収益金（総額187,513円）について、レジ袋削減推進協定締結事業者から安来市地球温暖化対策地域協議会へ全額寄付されました。同協議会では、その財源を基に「レジ袋削減基金による小学校環境活動補助事業」を実施しています。

小学校では、地域の特性に沿った様々な環境活動の実施や地域の方との交流を通して、心豊かな児童の育成を図ってられます。

平成27年度小学校環境活動補助金交付決定校

学校名	事業名	学校名	事業名
安田小学校	いきいきの花をさかせよう！	宇賀荘小学校	米・野菜づくりを通して環境を学ぼう
赤江小学校	飯梨川再発見（川ってすごいね）	広瀬小学校	ひろせ花いっぱい運動

※レジ袋削減推進協定締結事業者名、各校の事業内容などは安来市HPをご覧ください。

